

卓越した才能の輝きは世界を照らし、未来の研究者を導く光となる。 ディスティンゲイッシュトプロフェッサー制度



「ディスティンゲイッシュトプロフェッサー制度」とは、教育、研究、社会貢献などの分野において先導的な役割を担う教授を尊重し、その活動をサポートする制度である。優秀な教員に対する東北大学の姿勢を世界に示すことで、本学の認知度向上を図るとともに、人材確保に資することを目的としている。

本制度により初代ディスティンゲイッシュトプロフェッサーとして任命されたのは、各分野におけるトップレベルの卓越した専門知識に基づき極めて高い業績を挙げている30名(2008.4.1発令25名、2008.8.1発令5名)

の教授。いずれも本学で育まれた「Challenge(挑戦)」、「Creation(創造)」、「Innovation(革新)」という3つのキーワードを基軸とした研究マインドを備えた人物だ。

ディスティンゲイッシュトプロフェッサーの活躍は、他の教員の励みとなり、また学生の良い手本となって本学に浸透し、今後の人類社会の発展に貢献するものと期待される。本学が新たな100年の歴史づくりをスタートした2008年度から任期である3年間、本学の様々な活動を広く社会へ発信していく。

(50音順)

氏 名	所 属	選考理由
2008.4.1 発 令		
浅川 照夫	高等教育開発推進センター	大学における英語教育の授業内容及びカリキュラム編成等に関する改革の先導的役割を担い、本学における優れた英語教育の実践に大きく貢献している。
内田 龍男	工学研究科	液晶ディスプレイ研究で未踏の分野に挑戦して大きな研究成果を上げ、高性能液晶ディスプレイの実用化に大きく貢献をするなど、目覚ましい研究成果を結実させている。
大隅 典子	医学系研究科	生命科学分野のグローバル COE の拠点リーダーになるなど最先端の研究領域で目覚ましい活躍をし、さまざまな社会貢献に関しても先導的役割を積極的に果たしている。
大谷 栄治	理学研究科	先端地球科学分野における世界トップレベルの論文を数多く発表し、21世紀 COE プログラムの拠点リーダーを務めるなど、教育研究の両面で多大の貢献を行っている。
大野 英男	電気通信研究所	半導体物理学と磁性を融合した新たな研究領域で目覚ましい研究成果を上げ、半導体スピントロニクスという新たな研究分野で世界を先導する研究を進展させている
岡 芳知	医学系研究科	内科学、とりわけ糖尿病などの生活習慣病に関する研究で非常に高い評価を受け、我が国の内科学を先導する研究を展開している。
川島 隆太	加齢医学研究所	脳機能イメージング研究で未踏の研究領域を開拓し、世界に先駆けた研究業績を収めるとともに、研究成果の社会還元と社会貢献にも熱心に尽力している。
小林 隆	文学研究科	方言学の研究において卓越した研究成果を収め、「金田一京助博士記念賞」、「新村出賞」を受賞するなど、方言研究の第一人者として目覚ましい研究活動を展開している。
小柳 光正	工学研究科	高集積・大容量半導体メモリに関する世界をリードする先駆的研究で我が国と世界の半導体研究の発展に多大の貢献を行っている。
佐藤 英明	農学研究科	農学研究、とりわけ動物生殖科学分野で卓越した研究上の評価を受けており、教育者としても大学の内外から高く評価されている。

氏 名	所 属	選考理由
佐藤 滋	国際文化研究科	マルチリンガル(多言語)脳に関する言語脳科学研究という先端的研究に取り組み、外国語教育に関して教育実践面でも多大の貢献を行っている。
佐藤 源之	東北アジア研究センター	地雷除去探知・除去技術開発の分野で次世代型地雷検知器を開発し、紛争地域の復興開発に不可欠である世界各地での地雷除去活動に多大の国際貢献を行っている。
寒川 誠二	流体科学研究所	半導体分野におけるプラズマプロセス研究等で世界を先導する研究成果を上げ、タイムモジュレーションプラズマ技術の実用化等で大きく貢献している。
庄子 哲雄	工学研究科	エネルギー変換プラント等の経年劣化の解明と寿命予測法の開発等に関して卓抜した研究業績を上げ、劣化診断等の実用面でも大きな社会的貢献を行っている。
辻村 みよ子	法学研究科	我が国を代表する憲法学者として活躍すると同時に、21世紀 COE プログラムの拠点リーダーを務め、男女共同社会の法と政策に関する世界的視野の研究を実践している。
寺崎 哲也	薬学研究科	薬学・創薬科学分野、特に血液脳関門の研究で世界的に卓越した業績を上げ、国内外の薬学研究をリードする研究を力強く推進している。
照井 伸彦	経済学研究科	計量経済学の分野で世界的な研究業績を上げ、この分野での国際的フロンタランナーの一人として先導的な研究活動を展開している。
中沢 正隆	電気通信研究所	光通信技術における世界初の研究に数多く成功し、通信分野における世界の研究をリードする革新的研究開発に多大の貢献を行っている。
平間 正博	理学研究科	有機化学・天然物合成化学分野で先導的な研究を展開し、世界初天然物合成に成功するなど、世界的に高い注目を浴びる卓越した研究成果を挙げている。
前川 禎通	金属材料研究所	トンネル磁気抵抗効果をはじめとする磁気伝導に関する研究分野で世界をリードし、物質の磁性と伝導現象を中心とする電子物性の研究で世界的な業績を上げている。
水野 健作	生命科学研究科	細胞生物学の分野で数多くの研究成果を超一流の国際的な学術雑誌に発表し、生命科学分野の世界的な研究の先導者として高く評価されている。
水原 克敏	教育学研究科	学生参加型の優れた全学教育改革の実践により第1回の東北大学総長教育賞を受賞し、宮城県や仙台市など地域の教育行政にも多大の社会貢献を行っている。
宮下 徳治	多元物質科学研究所	単分子レベルの高分子ナノフィルムの開発に世界に先駆けて成功するなど、高分子材料科学、特に高分子ナノ薄膜材料の分野で国際的に優れた研究成果を上げている。
宮本 明	未来科学技術共同研究センター	独自の計算理論に基づいた計算化学ソフトウェアの開発に成功し、産学連携を通じての革新的な材料設計・プロセス設計の実現に大きな社会貢献を行っている。
吉野 博	工学研究科	建築環境学、特に住宅の温熱環境・空気環境・省エネルギー問題に関する数多くの優れた研究業績を上げ、幅広い分野で社会に大きく貢献している。
2008.8.1 発 令		
井上 邦雄	理学研究科	カムランドにおける反ニュートリノ観測の研究成果として「太陽ニュートリノ問題」を解明して「ニュートリノ地球物理」分野を開拓し、東北大学ニュートリノ科学研究センター長及びグローバル COE プログラムリーダーとして世界をリードするニュートリノ研究を推進している。
小谷 元子	理学研究科	幾何学と確率論、組合せ論を結びつけた離散的幾何学の成果である「離散幾何解析学による結晶格子の研究」によって第25回猿橋賞を受賞し、数学の分野での世界的な高い評価を受けており、同時にさまざまな社会貢献活動や男女共同参画推進等においても先導的な役割を果たしている。
佐藤 嘉倫	文学研究科	社会学の分野において社会階層や社会変動の分析等に関する卓越した研究成果を収め、21世紀 COE プログラム及びグローバル COE プログラムのリーダーとして、この分野で我が国を代表する世界的な研究を推進するなど、本学の人文社会系を代表する卓越した研究実績を挙げている。
中静 透	生命科学研究科	森林生態学の分野で国際的に高く評価される研究成果を収め、第1回「緑の学術賞」を受賞した。また、学際・複合・新領域分野のグローバル COE プログラムのリーダーとして地球環境問題と生態系管理・保全に関する卓越した世界的研究を強力に推進している。
圓山 重直	流体科学研究所	熱工学と流動ダイナミクスを中心とする幅広い分野で数多くの卓越した研究成果を挙げ、21世紀 COE プログラム及びグローバル COE プログラムのリーダーとして異分野との融合研究を積極的に推進するなど、優れたリーダーシップを発揮して世界をリードする研究を行っている。